

# おけうり

令和2年12月22日(火) 第41号 (発行者 校長 遠藤 修)

### <教育目標>

- ☆進んで学ぶ子ども(知)
- ☆健康でたくましい子ども(体)
- ☆みんなで助け合う子ども(徳)

### <校章の由来>

外形は学校を取り囲む山々を表し、その内側には健やかな成長と社会貢献を願い、杉の若芽が描かれています。



## 「みんなの桶売」桶売地区全戸配布へ

昨年度、本校の地域学習でまとめた小冊子「桶売むかしばなし」と「桶売植物図かん」、「桶売食べ物ブック」ですが、秋の川前町の町おこしイベントの会場で配布したところ、来場の方々から大変好評だったとのお話をいただきました。今年2月にラトブで配布することを目標に、子ども達が準備を進めていましたが、コロナ禍により中止となってしまいました。その後もPRイベントを開催することが難しい状況が続いていますが、こうして子ども達の故郷を大切にしようという思いが皆さんに伝わり、励ましの言葉をいただけたことは、子ども達にとって大きな励みになりました。

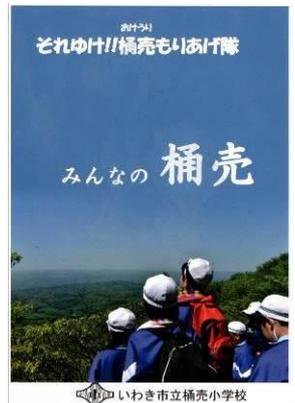
そうした中で、子ども達の学習の成果を地元の方々にも是非見ていただいていたどうかと声をかけていただいたこともあり、3冊の小冊子をまとめた『～それゆけ桶売もりあげ隊～「みんなの桶売」』を増刷し、川前支所のご協力で桶売地区の約200戸に配布させていただくことにしました。



支所長さんに対応いただき緊張の子ども達

本日(22日)、発注していた冊子が刷り上がってきたため、子ども達が支所に配布のお願いに行ってきました。

今年は、川前町全体に範囲を広げて学習活動に取り組んでいます。子ども達の一生懸命な姿を通して、地域の皆様に元気を届けていきたいと思えます。



## 赤い羽根共同募金

### 募金総額 3,980円

ご協力ありがとうございました。

毎年、取り組んできた「赤い羽根共同募金」。今年も児童会活動の一環として呼びかけを行いました。

今年、あつめられた金額は、3,980円。21日(月)に川前町社会福祉協議会の職員の方に来校いただき、子ども達から直接お渡ししました。

1947年に始まった日本の「赤い羽根共同募金」、今年で73年目を迎えます。ひとり暮らしのお年寄りや、障がいのある方など、助けが必要な方々のためにつかわれます。



### 「なぜ赤い羽根？」

共同募金のシンボルとして親しまれている【赤い羽根】が、共同募金運動のなかで登場したのは、運動開始後2目から。アメリカでの募金活動(United Way)で使われていた赤く塗った水鳥の羽根にヒントを得ています。

## Merry Christmas!

22日(火)の業間の時間に、児童主催のクリスマスパーティーが行われました。

進行は6年生が担当。ハロウィンに続き、劇仕立てで進められました。

「サンタクロースのプレゼントが盗まれた！」ドロボウから取り戻すにはゲームに勝利しないといけません。はてなボックスの中に手を入れてプレゼントを当てるゲームにみんなでチャレンジしました。

ぬいぐるみやトランプ、虫籠からボンドまで、いろいろな物がプレゼント袋に入っていました。

最後に、おけうり坊のパペット人形を正解して、無事、全部のプレゼントを奪還!

子ども達のおかげで、楽しいひと時をすごしました。



リアルタイム線量測定システムの数値(校庭)  
0.099  $\mu$ SV/h 12/22 10:30  
(文部科学省HPの放射線モニタリング情報)  
<http://radioactivity.nsr.go.jp/map/ja/>

桶売小学校 電話 0246-84-2230  
Fax 0246-84-2240  
在籍児童数 男子2名 女子2名 計4名  
<https://iwaki.fcs.ed.jp/桶売小学校>

